



# アーキテクティングゼミ

## Architecting Seminar

代表: 白坂 成功 / 教員: 前野 隆司  
構成メンバー: 博士学生、修士学生、SDM卒業生、学外研究員

### 概要

アーキテクティングラボは、システムの構成を創造する方法論である「アーキテクティング」についての研究を行う横断研究型のラボです。アーキテクティングという方法論は、技術システム、社会システムを問わず使われるものです。このアーキテクティングの共通的な考え方を理論化すること及び、その理論を用いてさまざまなシステムに対してアーキテクティングを実践していくことを目指して毎週土曜日午後15時にゼミを開催しています。このラボでは、博士課程の学生を中心に、卒業生、学外の研究者等が自発的にテーマを持ち寄って参加し、活発に意見交換を行っています。

### ラボ活動

#### 多様性のある対象

ある年には「System Architecting of the Art」をテーマとして、人の心を動かすシステム(Art)をアーキテクチャの観点から分析することを行いました。メンバーが興味のあるArtについて、アーキテクチャの観点から分析し、報告する活動を行いました。この中では、映画のアーキテクチャ、ドラマのアーキテクチャをはじめとして、楽曲のアーキテクチャ、俳句のアーキテクチャ、色彩のアーキテクチャなどの興味深いアーキテクチャ分析結果が報告されました。対象は多岐にわたりましたが、その中から「緊張と弛緩の関係」、「アーキテクチャの時間的変化というアーキテクチャ」というArtのアーキテクチャに特徴的に見られる新しい観点を見つけることが出来ました。

また、新しい超小型衛星の開発方法論、博物館、社会システムと制度設計、欲求を活用したビジネスモデル設計、コンプライアンス遵守、プロジェクトアーキテクチャ、組織の予算配分など多様なテーマについて発表され、活発な議論をされました。それらの議論は、各自の研究にフィードバックされ、更により研究となるためのきっかけとなっていると思われます。

